

2学期終業

「より良い学びの場は、その場にいる子ども、教職員、全員が考え、動き生み出そうとしなければ創れない。」**「Be the Player**

～全員がプレイヤーであれ～」 そう言ってスタートした2学期でした。その言葉どおり、行事や取組も多い中、それら一つ一つを節目にしながら一人一人の力を合わせ、みんなで日々を充実させてきました。

2学期後半は特に、「誰かに何とかしてもらう」のではなく、「自分達の楽しい場所は自分達でつくる」、そんな動きがいろいろな場面で見えてきました。

「何を伝えよう」「どうしたら思いが伝わるだろう」と知恵を出し合いながら表現の仕方を工夫した学習発表会。「どうして考えたの?」「え、何でそうなるの?」と頭を寄せ合い「ああでもない、こうでもない」と話し合いながら問題に取り組んだ学習の時間。休み時間の過ごし方について「体育館の使い方を提案します」「一緒に楽しく遊べるように協力してください」と他学年に思いを伝えに行った人達もいました。

後期に入った児童会活動では、「チーム遠足」に始まり、前期の取組の良さも引き継ぎながら後期ならではの新しい企画も生み出されていきました。どれも「24人、全員が楽しめる」こと、「運営する人も参加する人も楽しい」ことが大事にされていました。

活動が充実していく過程では子どもどうしで揉める事も増えました。主体となって動けばそれまで気にならなかったことが気になり始めたり、黙ってやり過ごしてきたことがそうはできなくなったりしたからです。しかし、先生に伝えるだけでは事は改善しません。子ども自身が、自分の言葉で、相手とともに大事にしたい「一緒に遊びたい」「みんなと楽しく過ごしたい」などの思いを伝え、協力して欲しいことを具体的に提案していきました。教員の伴走はあります、結果として、「自分達の行動で状況を改善できた」という体験を得ました。今後も子ども達が自立した人として成長していくために、上手に伴走できる教職員でありたいと思います。

明日から冬休みです



保護者、地域の皆様に支えられながら、今学期も子ども達、教職員ともに多くを学び、元気に過ごすことができました。ありがとうございました。

来年もよろしくお願ひいたします。

宇川小学校教職員 一同